

「国鉄35万人体制」粉碎！ 徹頭徹尾闘争「統一」粉碎！ 三里塚二期着工阻止 右翼労戦

12.3 労働者集会を圧倒的に成功させよう

12.14「統一準備会」の発足を粉碎せよ！ 右翼労戦「統一」の尖兵「動労本部」革マル反動分子を追放・掃せよ！

*** ** ** ** **
全国の闘う動労組合員の皆さん！ 全組合員の皆さん！
わが動労千葉のよびかけで開催される「右翼労戦「統一」」粉碎、三里塚二期着工阻止、十二・三労働者集会」がま近かに迫っています。今日の日帝・支配階級による右翼労戦「統一」は総評労働運動解体・軍事大国化・改憲攻撃の激化に対し、今こそ、既成労働運動の腐敗と屈服をのりこえる闘う方針とその実践が強く求められています。闘う仲間と共々「十二・三労働者集会」を圧倒的に成功させ、日帝・支配階級の戦争への道・軍事大国化・右翼労戦「統一」攻撃を三里塚二期着工阻止の大爆発で粉碎するその突破口としようではありませんか。

日帝・支配階級の戦争と反動攻撃の激化

防衛白書での「真の愛国心」「国家体制を守れ」
・天皇の元首化・憲法九条の戦争放棄条項の廃止をはじめとする憲法改悪の着手・防衛費一％枠の突破
・自衛隊の大増強・核武装化さらに教科書改悪・刑法改悪として「行革」の合理化・首切り
・国鉄再建の三五万人体制攻撃など、日帝の軍事大国化・改憲戦争と反動の攻撃を激化させています。

この日帝・支配階級のすさまじい攻撃に対し、公明党にあっては、「ソ連脅威・自衛隊合憲・軍事力増強を公然と打ち出し、同盟は、その運動方針に防衛力強化を盛り込み、統一推進会の「基本構想」に見られるように日帝・支配階級の危機を自らのものとして受けとめ、右翼労戦「統一」産業報国会化の道を突き進んでいます。
又、総評指導部をはじめ野党勢力は、無気力と無方針の下で、つぎつぎと屈服をつづけているのが現状です。
さらに動労「本部」革マル反動分子に至っては、その反動性と反階級性をむき出しにして、国鉄三五万人体制合理化先協力やわが動労千葉をはじめ闘う部隊への組織破壊攻撃を権力・国鉄当局一体となつてくりかえしています。

三里塚二期着工阻止闘争は、労働者の未来がかかった闘い

こうした状況の下で、三里塚二期着工阻止闘争の爆発と発展こそは、闘う労働者人民の未来を決する闘いとなります。

われわれは、十六年間にわたって政府・権力に屈することなく実力闘争をもって闘い続け、二期着工攻撃に対し、断固闘い抜く決意をますますかためている反対同盟農民に真に連帯して総決起しなければなりません。

反戦闘争・反権力闘争の皆「三里塚闘争の勝利」こそ、闘う労働者人民の未来があることを全国の多くの労働者人民が気づき、感じはじめ、決起しつつあります。

三里塚二期着工阻止闘争の爆発で日帝・支配階級の軍事大国化・反動攻撃・右翼労戦「統一」攻撃を粉碎しよう。

「十二・三労働者集会」を圧倒的に成功させよう

全国の、とりわけ首都圏の闘う労働組合・労働者がつぎつぎとわが動労千葉の呼びかけに応じて、「十二・三労働者集会」への賛同と激励と集会参加を表明しています。
権力・動労「本部」革マル反動分子の集会破壊策動と妨害をはねのけ、牛込公会堂をうめつくす闘う労働者の結集で「十二・三集会」を圧倒的に成功させようではありませんか。

東京牛込公会堂(飯田橋駅)17:30~
12.3 労働者集会
主催・国鉄千葉動力車労働組合
賛同人・岩井章(元総評事務局長)、羽仁五郎(歴史学者)、高島喜久男(労働運動評論家)、金子信(総評地方レガ)、針生一郎(美術評論家)、西村卓司(三菱重工造船労働組)、柘植秀臣(元志政大教授)、宮岡政雄(初川基地地権者同盟)、須田隆昭(11/22現在・敬称略)他。
基調報告・中野洋(動労千葉書記)
連絡・後藤三郎(三里塚反対同盟)、北原敏彦氏、シエラ・支那支部、浅田光輝氏、高島喜久男氏、全造船石川島分會、佐藤芳夫委員長、全金本労組、八重樫委員長、他。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！